

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



KODAK Color Control Patches

© 2001 Kodak. All rights reserved. TM: Kodak. K172082B



Inches 1 2 3 4 5 6 7 8  
cm 1 2 3 4 5 6 7 8

Blue

Cyan

Green

Yellow

Red

Magenta

White

3/Color

Black

249  
71

249-71  
\*1201000385331\*

大津繪集

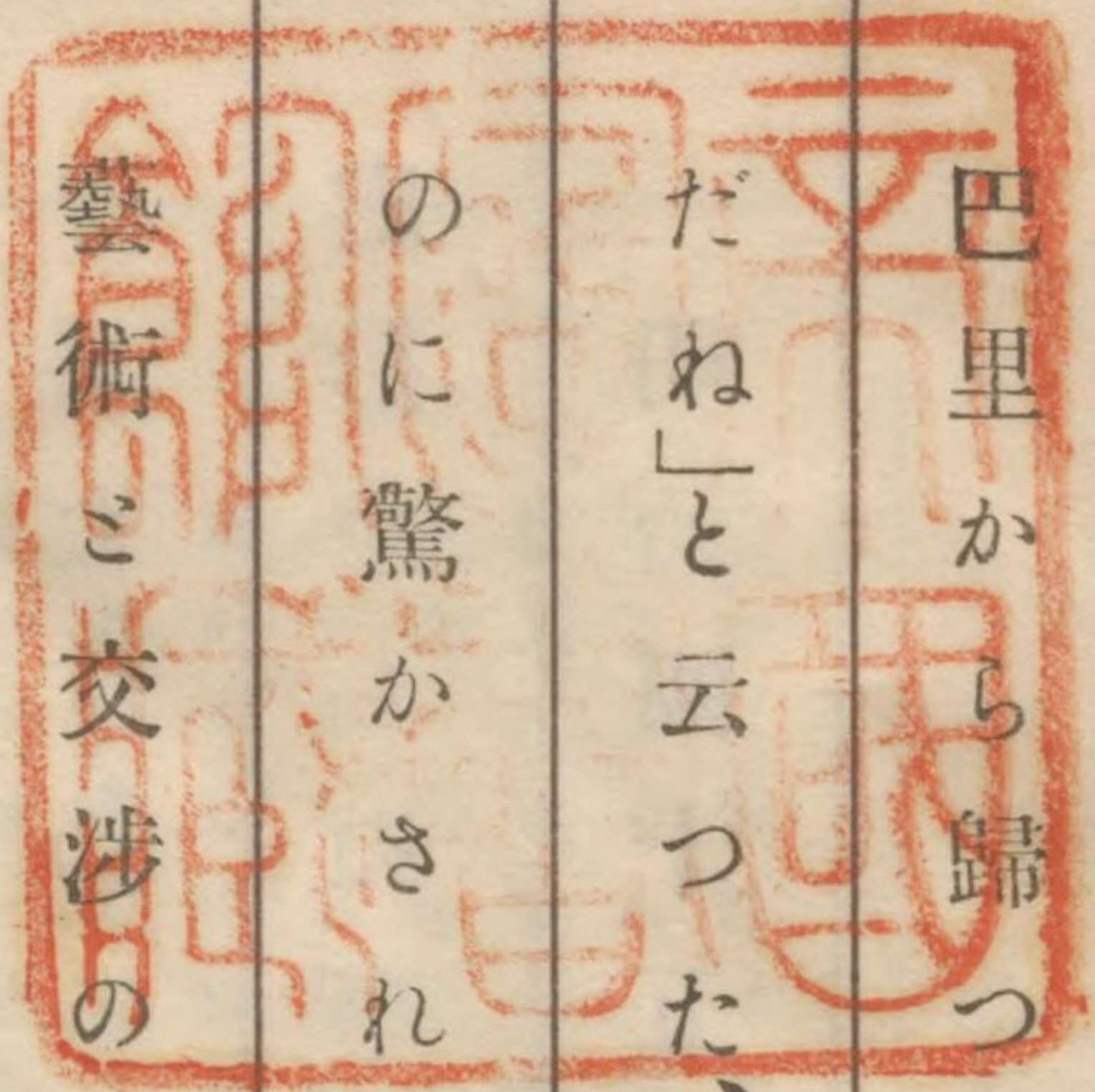
大津繪集  
圖  
書  
總  
發



大正集

249
71





巴里から歸つた友なる畫家の某氏は「まるでロダンのだね」と云つた、大津繪とロダンの餘りに對照の突飛なものに驚かされたが、其おほまかな中にどこか近代的藝術と交渉のあるといふ點は、私にも首肯が出来る。

故淺井黙語先生は我大津繪宗の一人で、古い圖に先生獨得の新意を加へて、面白い圖按を多く殘された。私達は又ふるくから芭蕉翁の句に依て、懐しいもの、ひとつとなり、詩の配合物として取扱つた事も屢

明治  
45. 5. 4  
内交



ある。放膽なる描法單純なる色彩、瀟洒にして一片俗  
氣を交えぬ處、大津繪はごこ迄も私達の趣味と一致  
する。今春吾八の主人に依て展覽會が開かれ、大津繪  
集の發行を見るといふのは、啻に私達が多年の宿志  
を果たすのみではなく、必ず一般圖按界に貢獻する  
處尠からぬ事と信ずる。

明治四十五年三月

大津繪集の卷頭に

露石題

朗かな春にはまだ少し間のある椿、山茶花の寒い眠りを破ろうと  
本月廿七八の両日弊店に於て諸家の御珍藏品を借受けまして古大  
津繪展覽會を開く事に致しました、あの大膽な筆致、あの奔放な  
色彩は之を近代の漫畫趣味から見ても頗る味ひが深からうと思は  
れます。俗諺に唄はれて歡樂の夢の様に存らへたり、旅戻りの土  
産から草の屋の破屏風の張交ぜに終る果敢ない彼の生涯でも我々  
の耳に大津繪といふ名は師宣よりも應舉よりもよりなつかしく響  
くのです、郷土藝術とか平民的繪畫だとかいふ面倒な議論は捨て  
置いて自分等が幼き程の壁や板扉に止めた悪戯畫に向ふがやうな  
自ら欺かぬ氣分で見ても中々に興味がありませうし、當面、持て  
はやされつゝある流行の骨董品の一つとして賞讃するよりも涙び  
た無名の平凡な田舎畫師の名畫を叩ふといふやうな意味でその前  
に低徊するのも亦一興ではありますまいか、それは扱置いてどう  
か當日は賑々敷永當々、御來場を希上げます

一月二十七日  
一月二十八日  
來る  
畫間開催

西區新町通一丁目電車道西入

吾八



一月廿七、廿八日に催しました大津繪展覽會は皆様のお蔭で思はぬ成功を致しました、就きましてはこんごその思ひ出にと云つたやうな意味で當日陳列しました大津繪を一冊に纏めて出版する事に致しました、また異つた面白い氣分が出るだらうと思つて居ります、併し同じやうな繪は一つを採つて他をはぶく事に致しましたから、どうか慥う云ふ意味ですからその時の案内狀を序文といふ形式に使つて見ました、それから口繪は特に月村さんが贈られました自畫自刀に私が鳥渡採筆を舐めて見ましたが何んだか月村さんに悪い事をしたやうに思ひました。終りに當日陳列しました大津繪とその持主の芳名を擧げる事に致しました、そうしてかくも御秘藏品を御貸與くださつた皆さんへ厚く御禮を申し上げます。

吾 八 主 人 謹 白













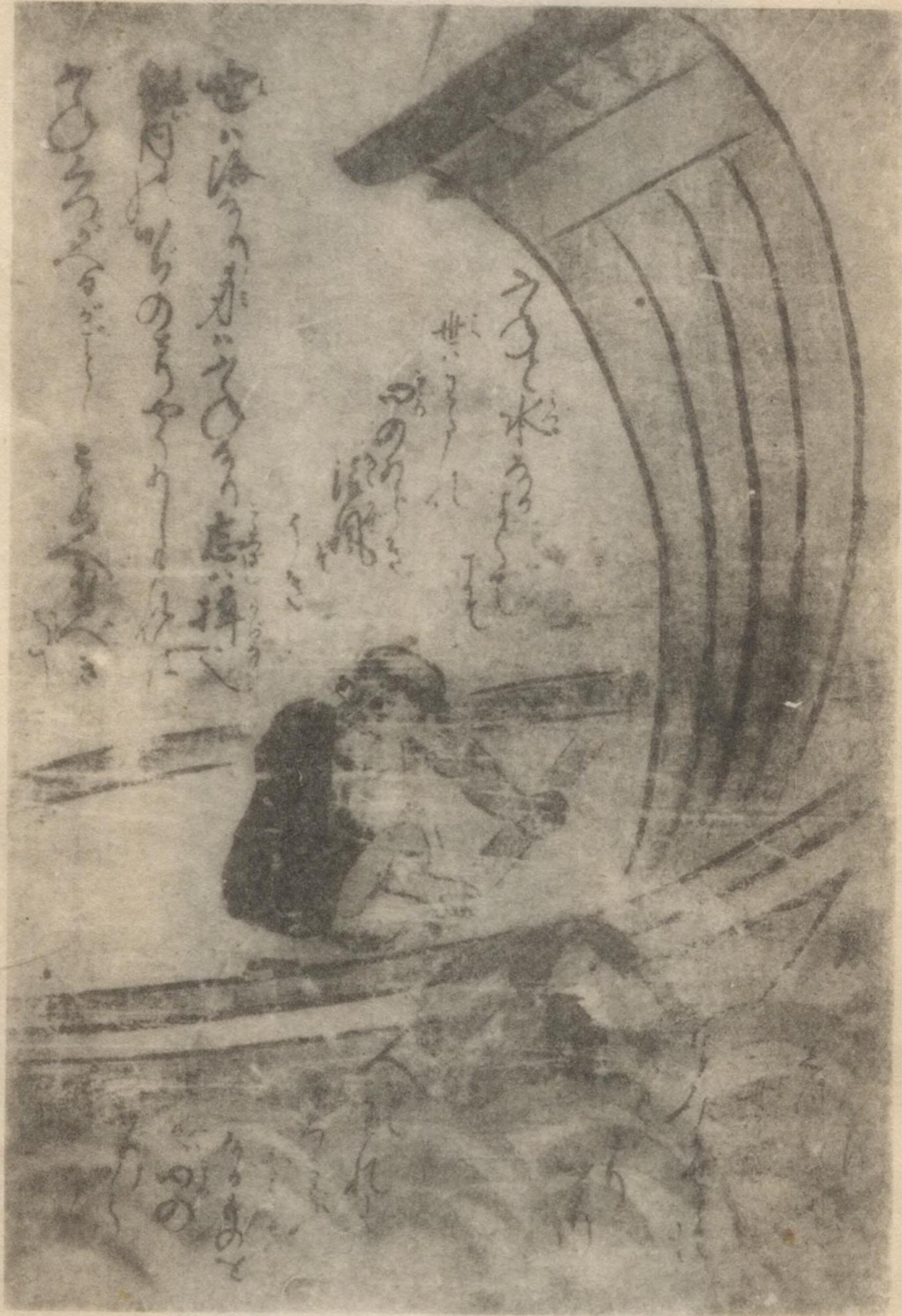


新調子  
度  
町  
子

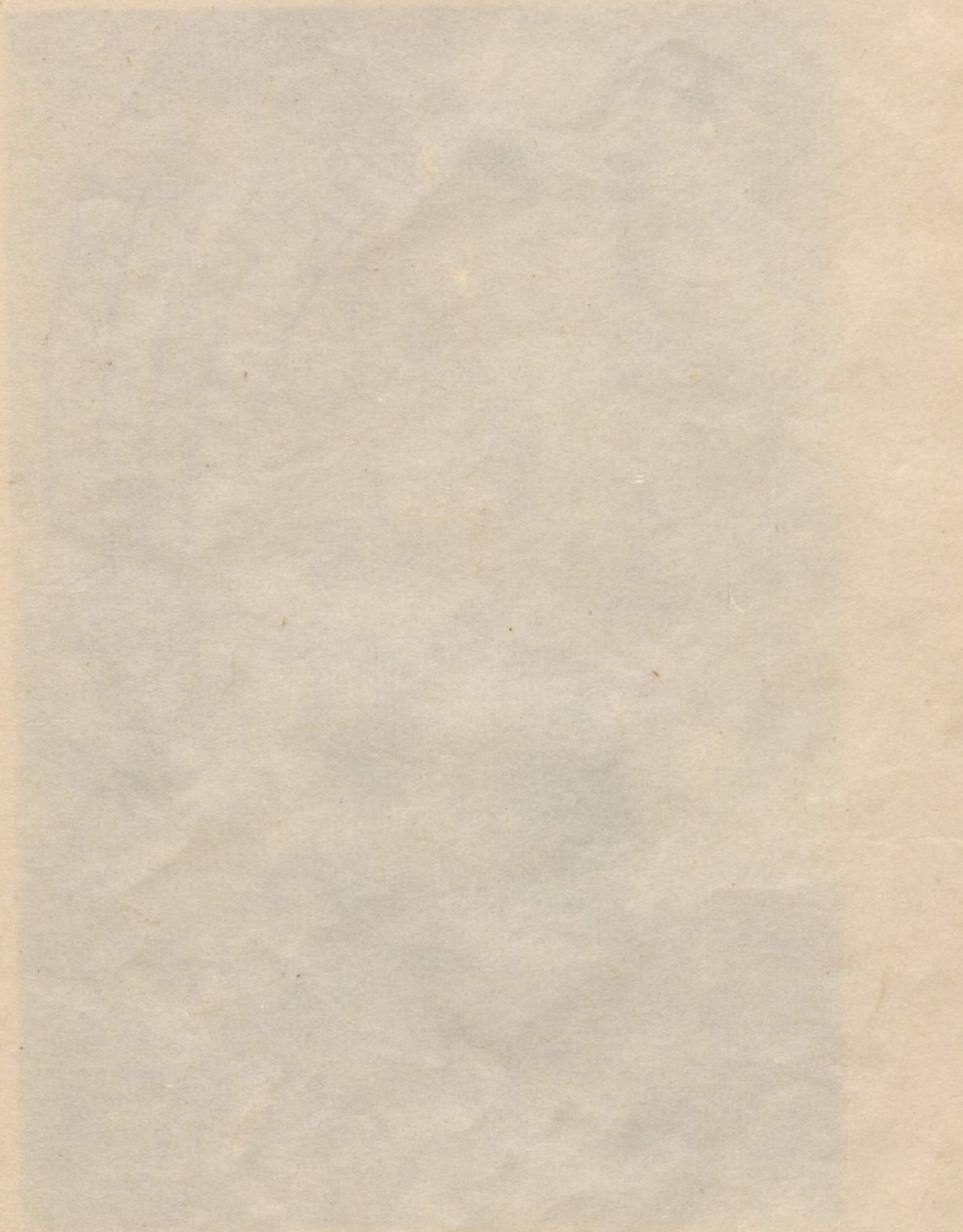
子  
町  
度







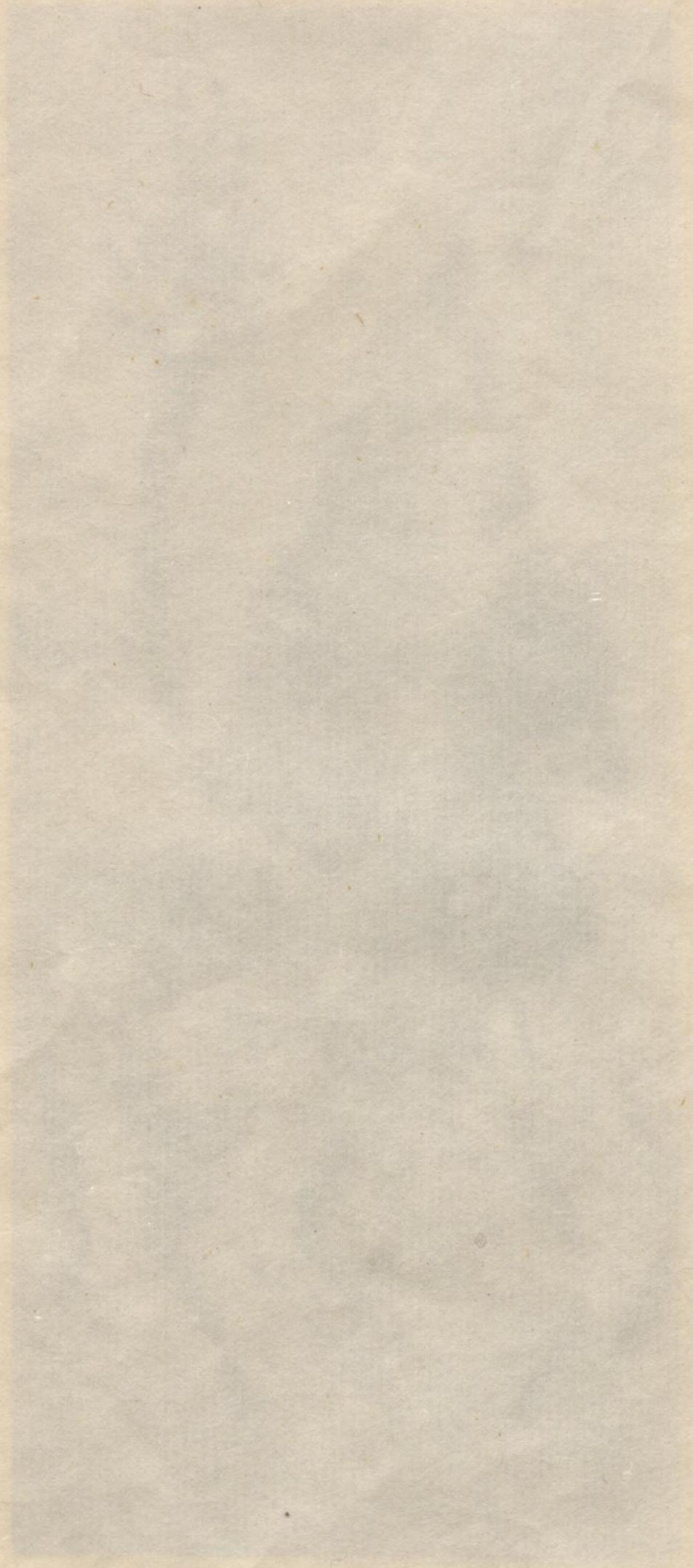








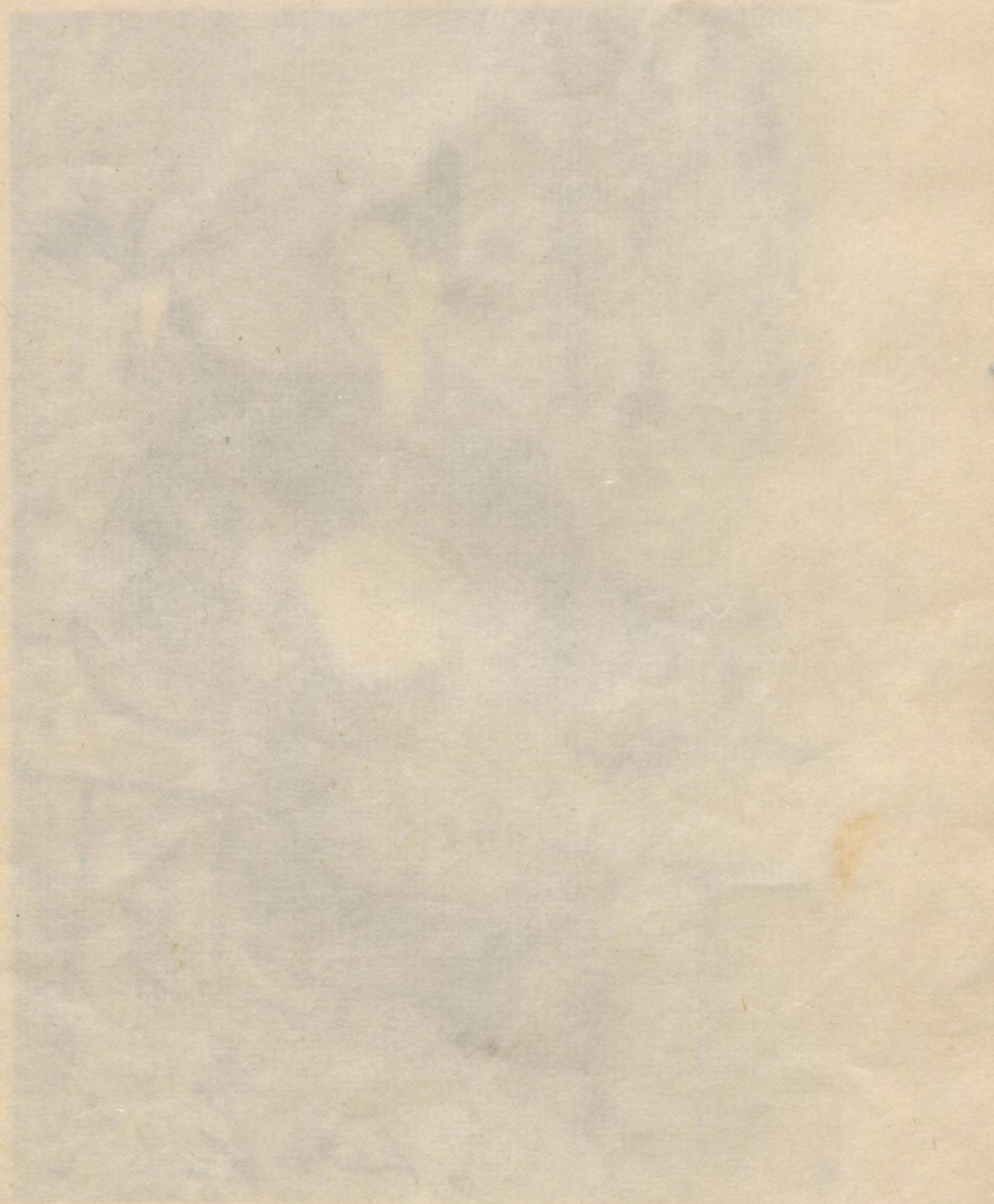








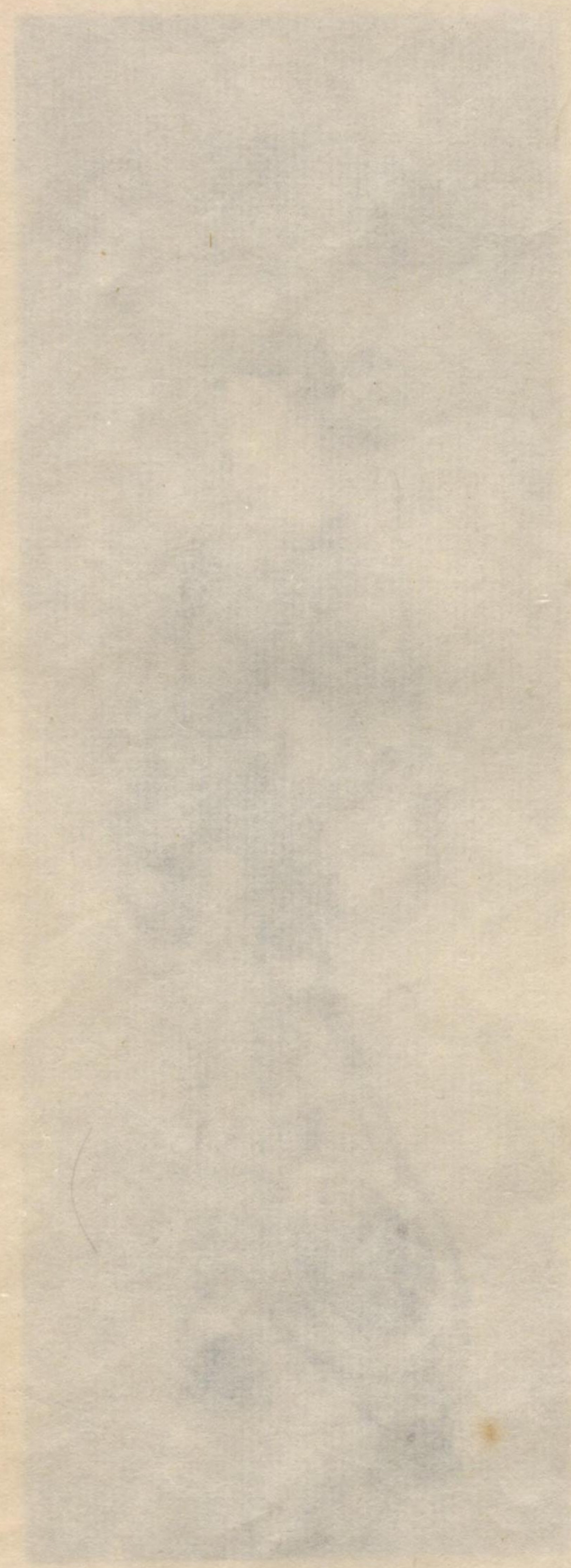












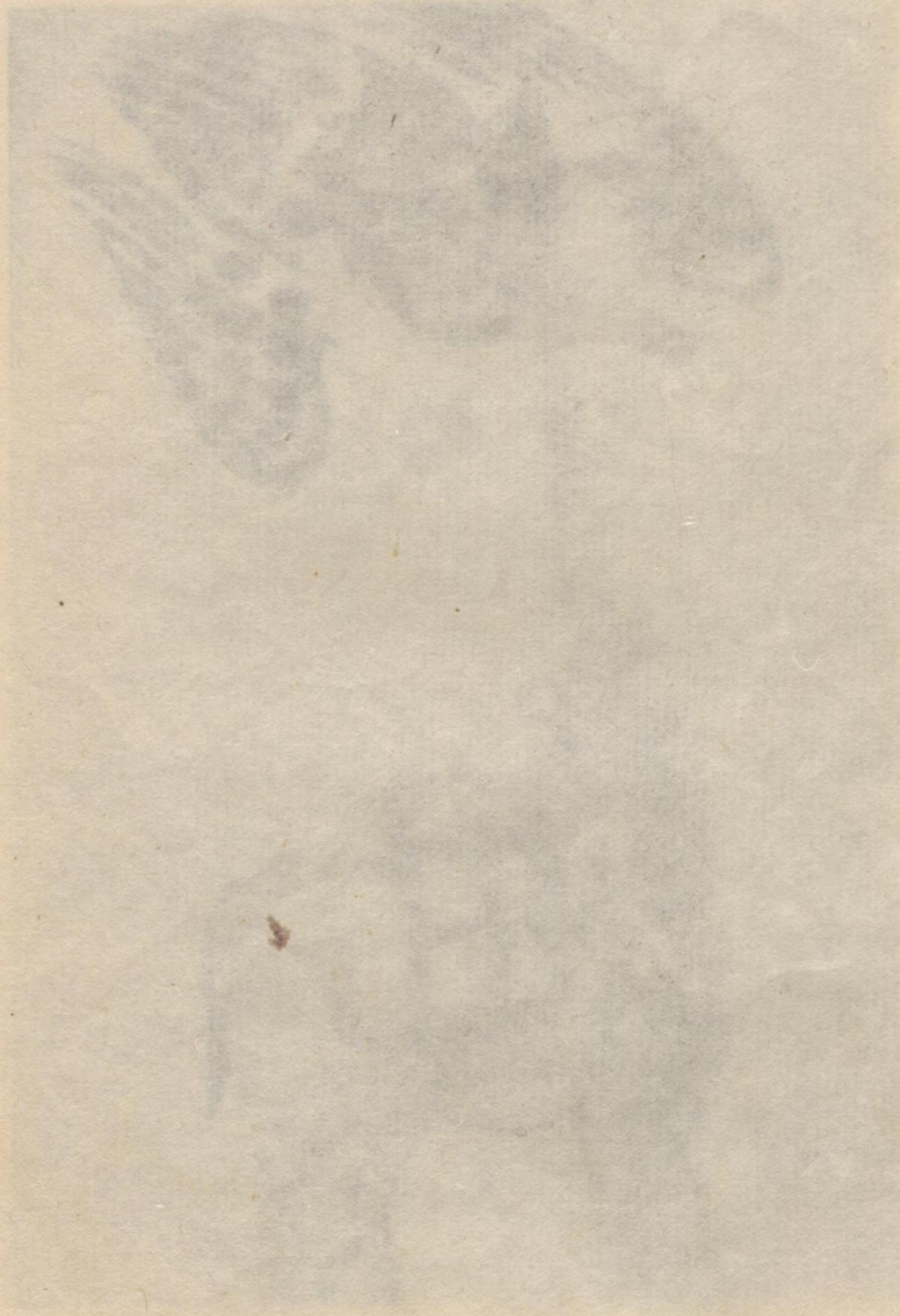










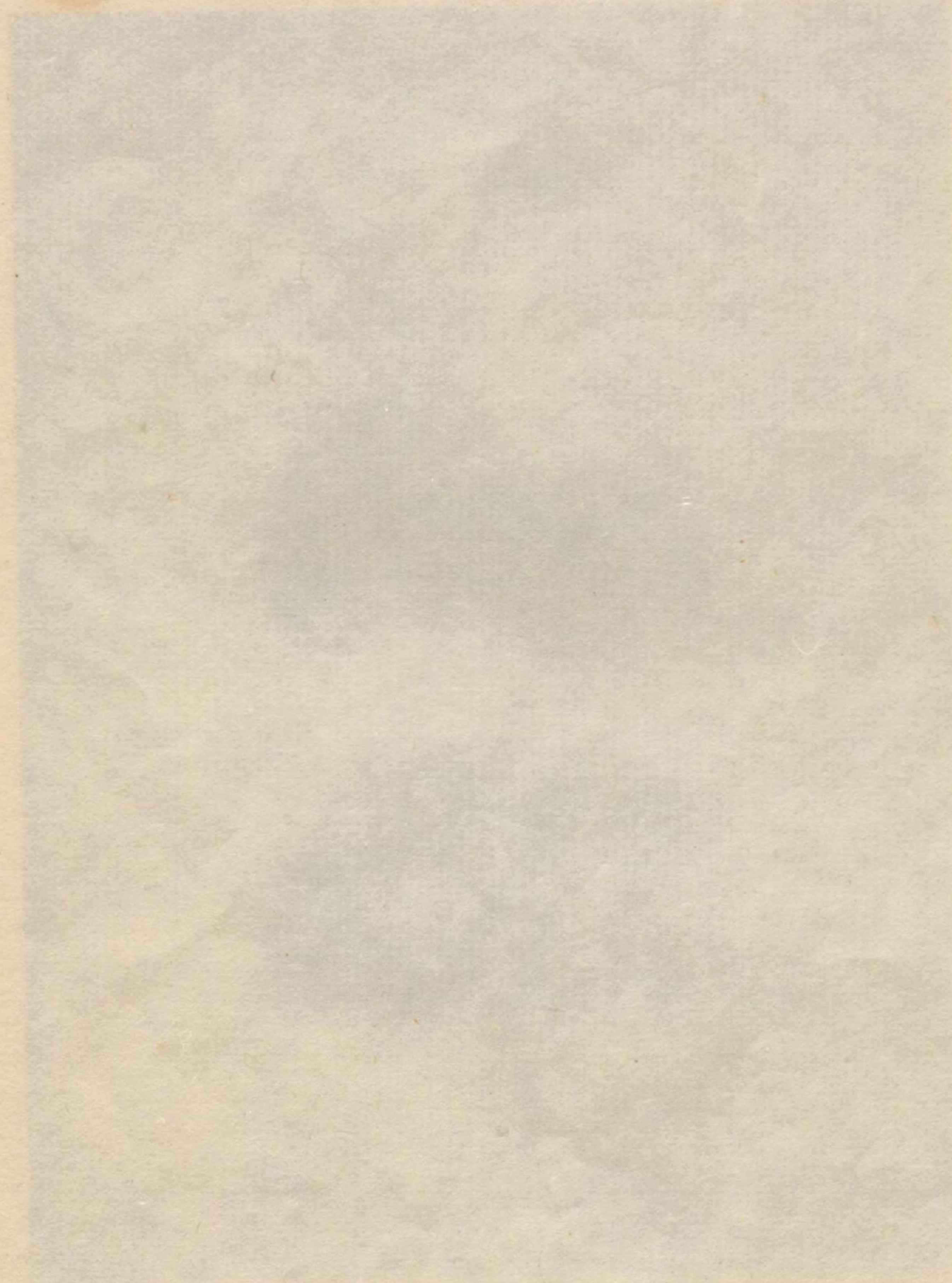
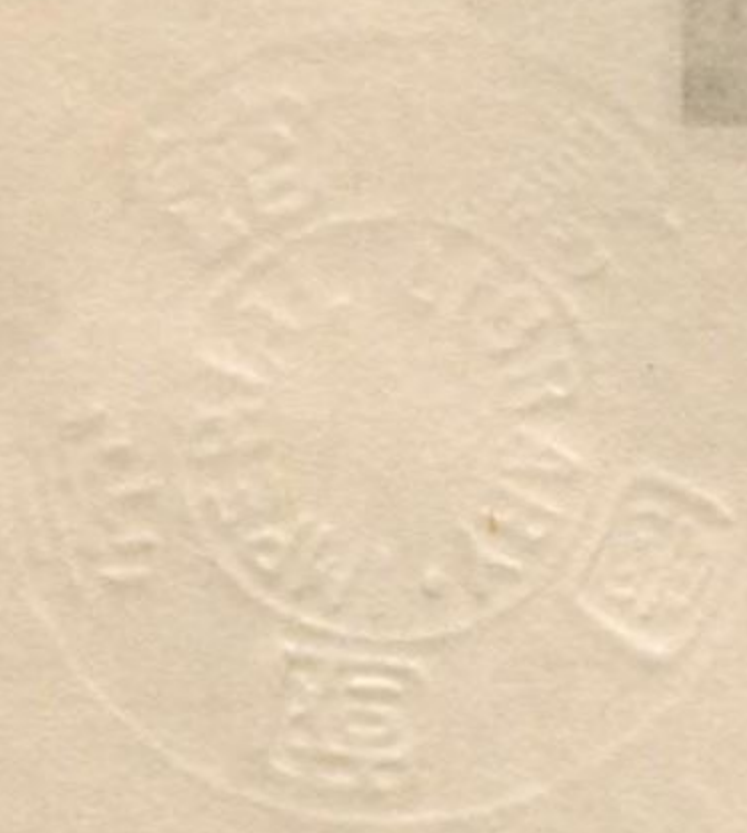


11  
1  
11





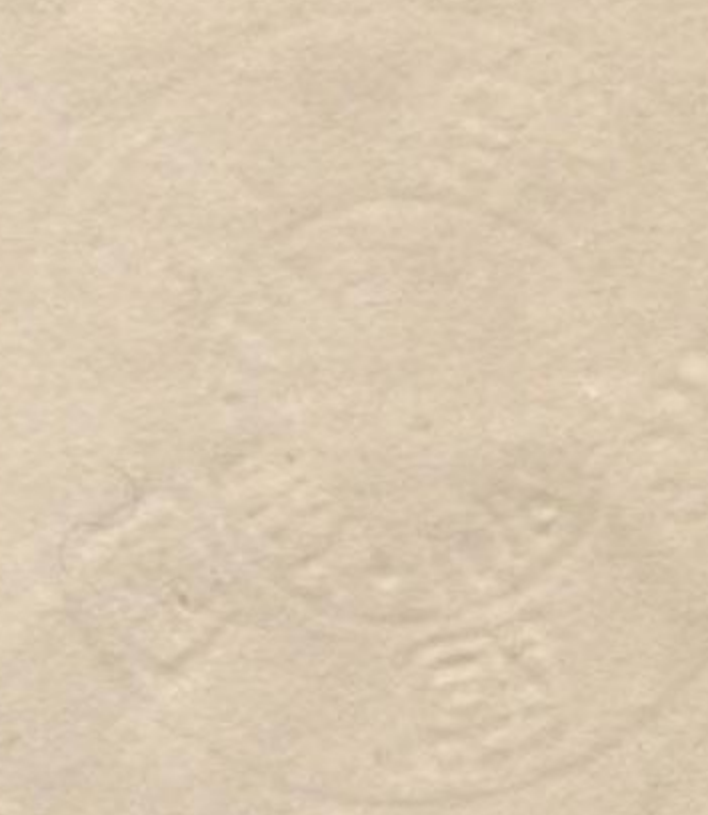




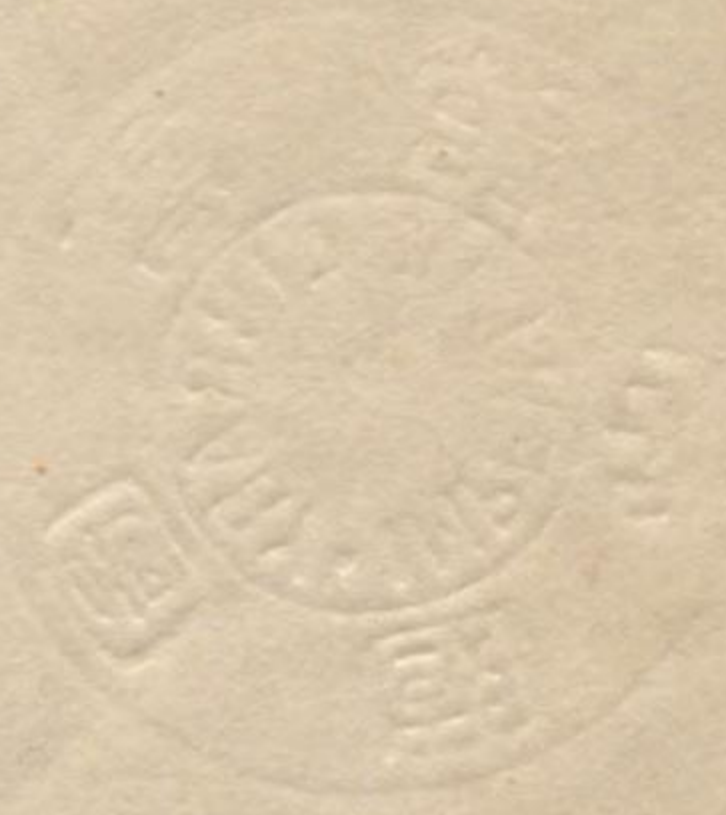
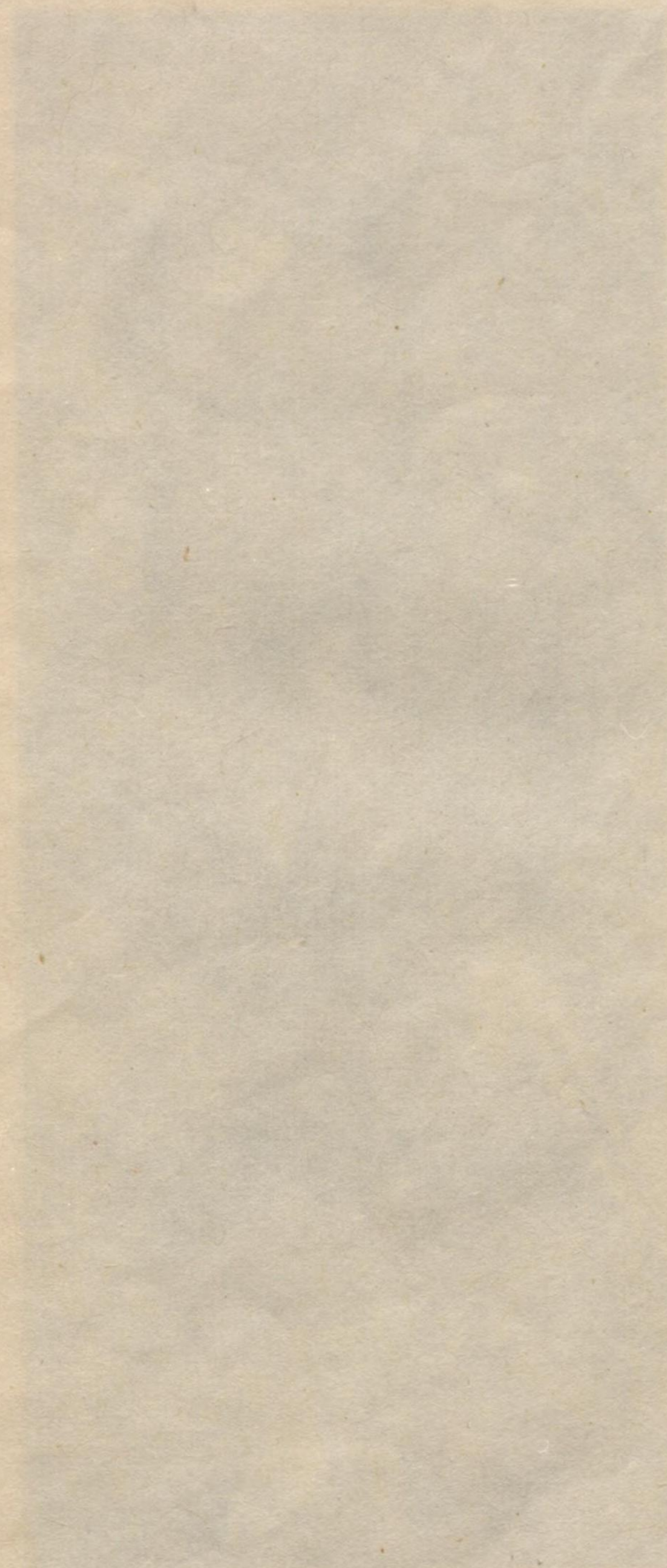












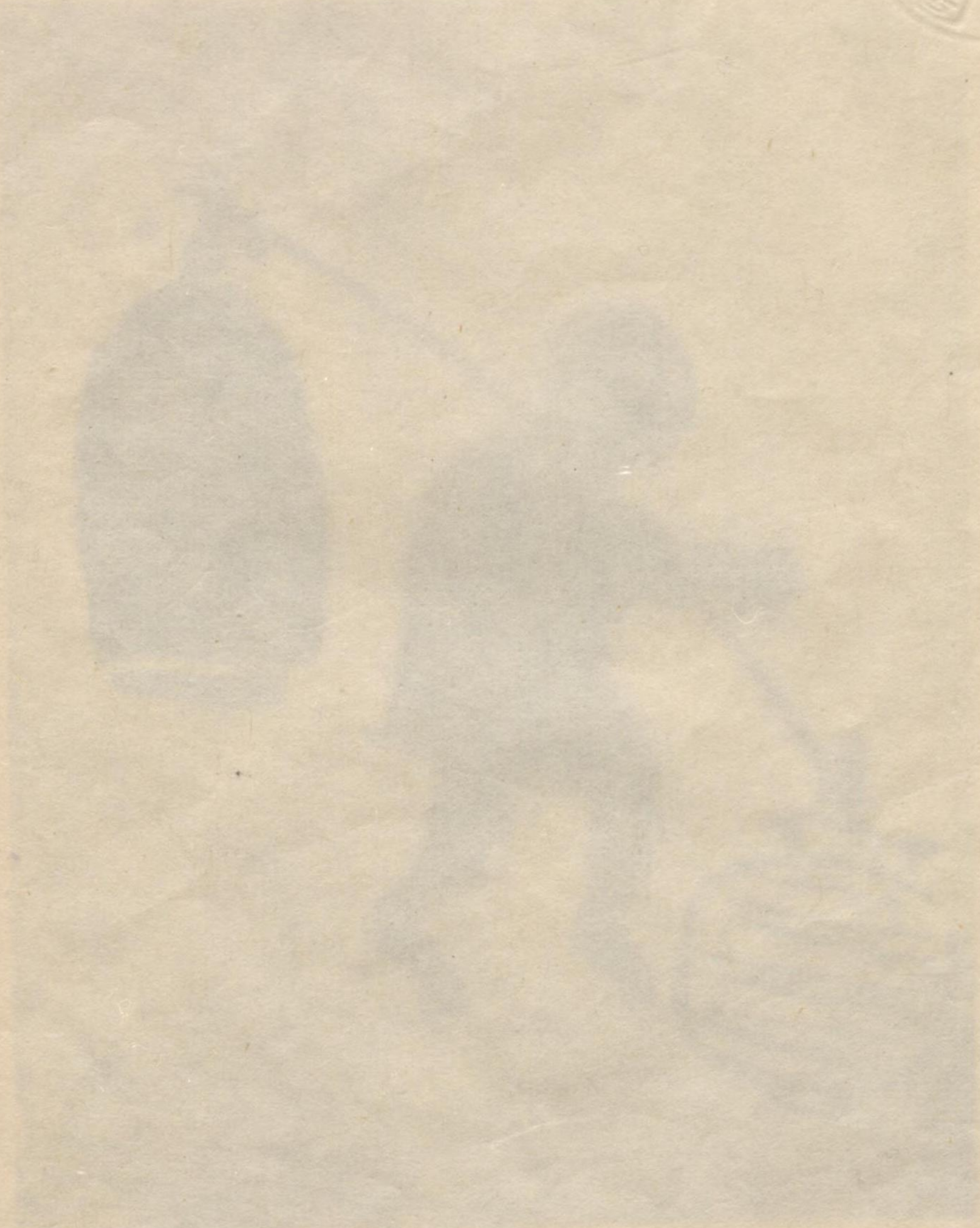




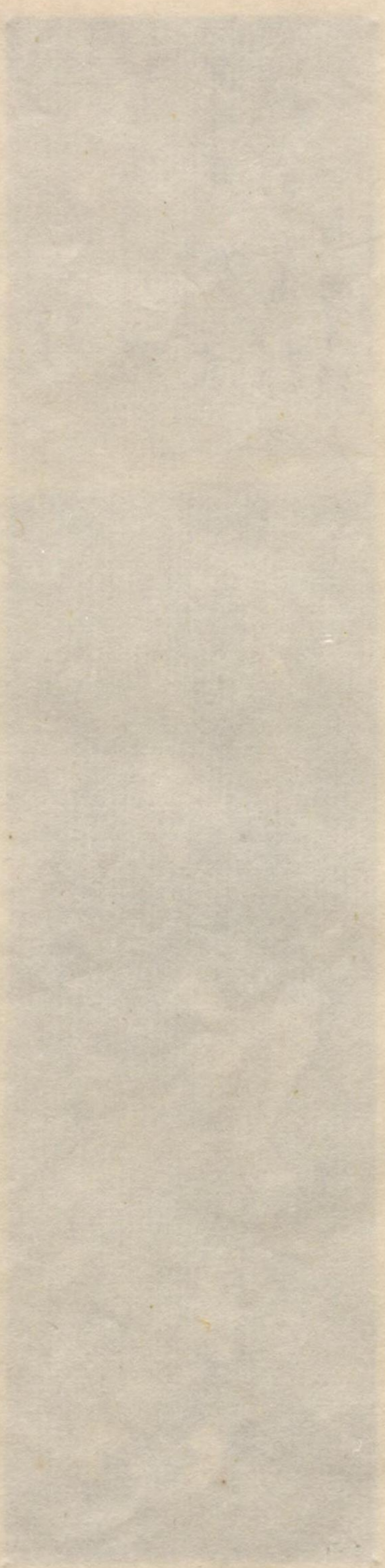




盲者之怯  
 方引引棍  
 了之引棍  
 強失之棍  
 方澤閑人書











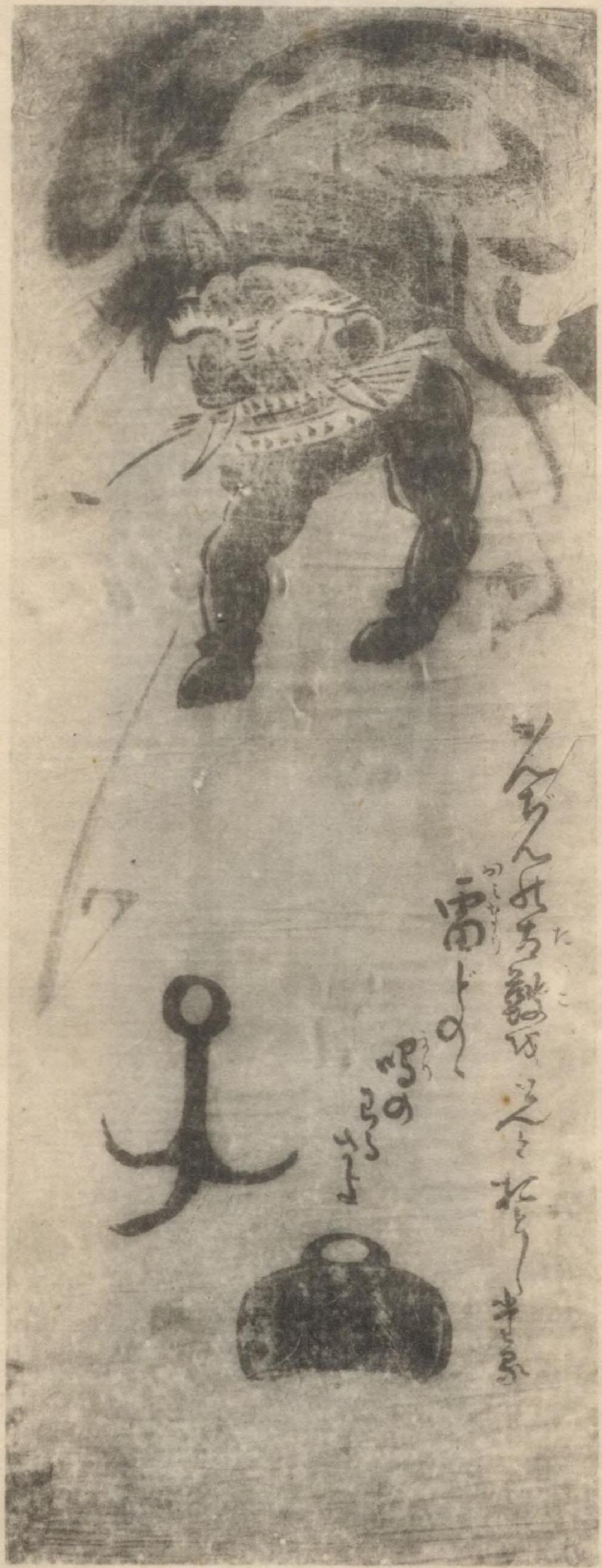
















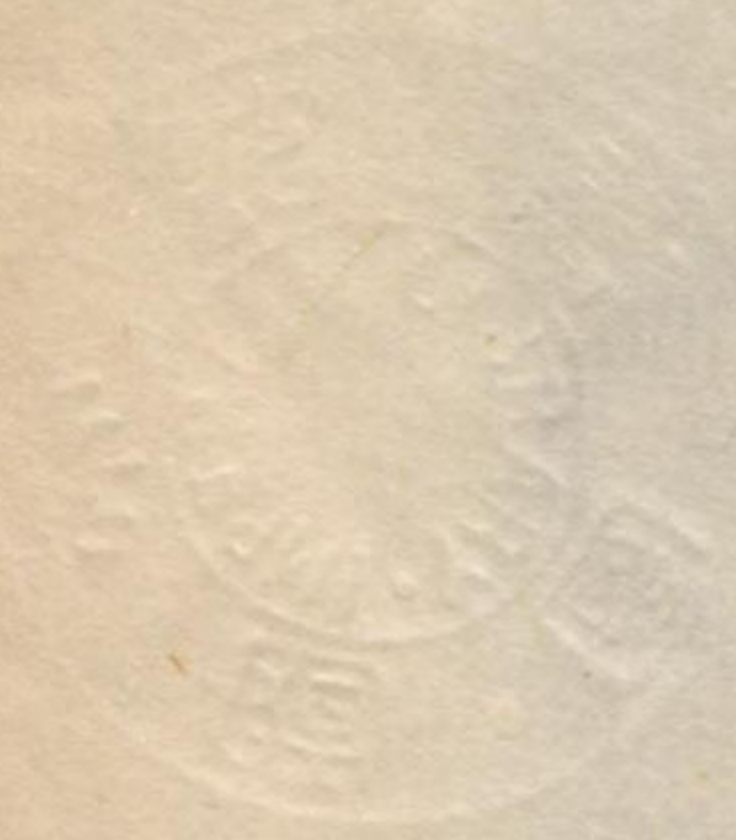
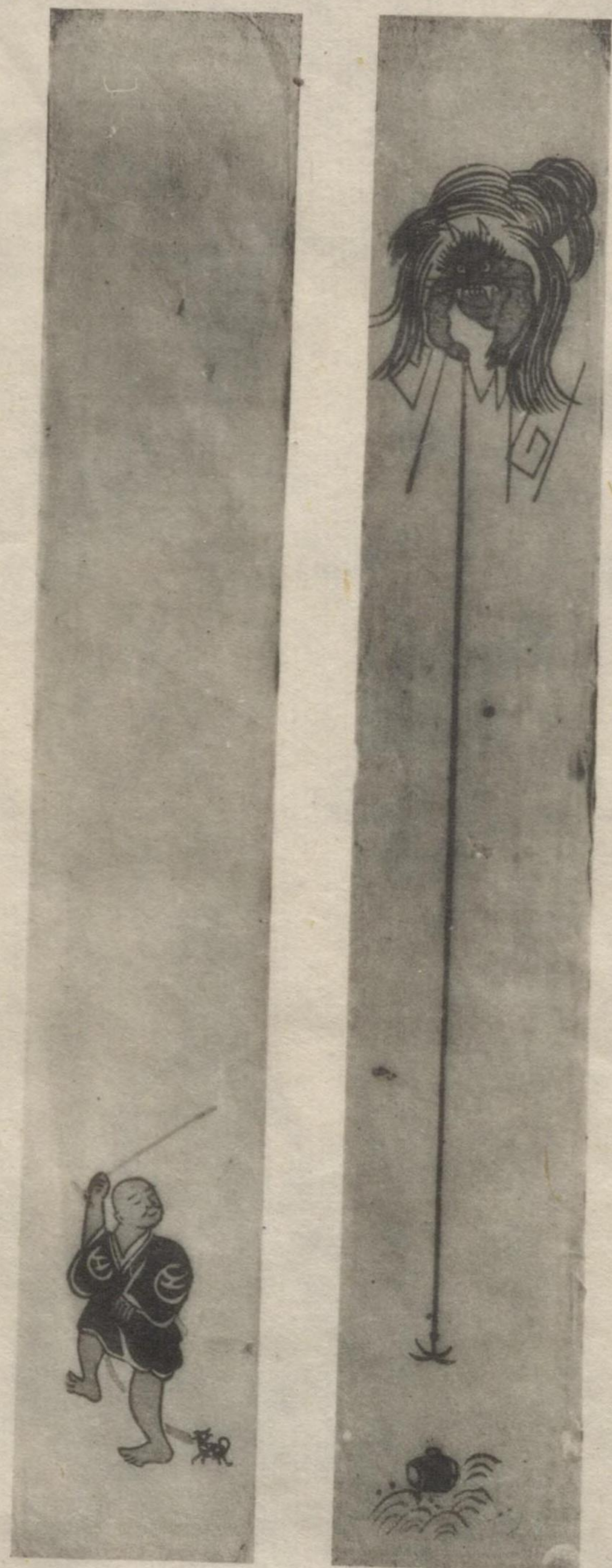
胡  
 盧  
 探  
 鯨  
 力  
 難  
 白  
 捕  
 月  
 庄  
 心  
 省  
 於  
 是  
 後  
 所  
 傳  
 不  
 合  
 也



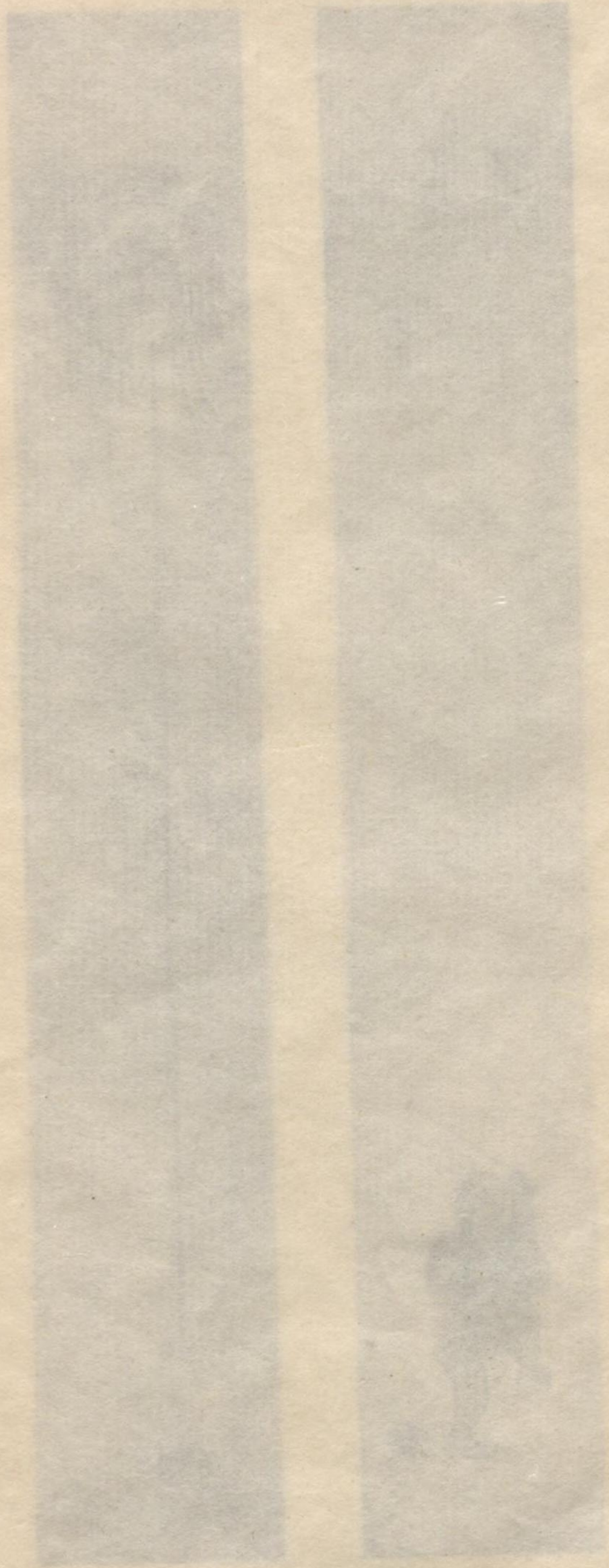




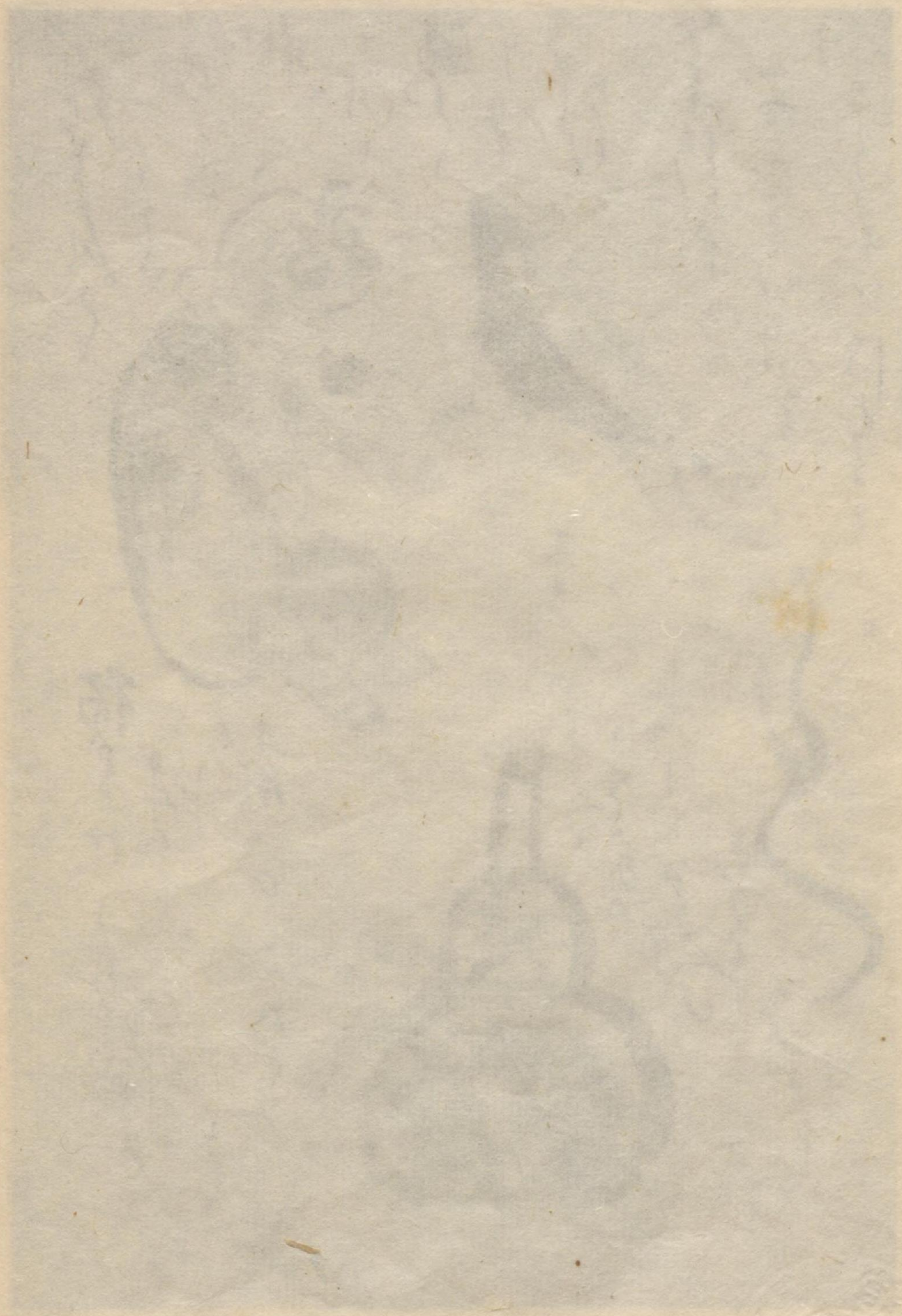


















古大津繪に就いて

大津繪といつて今世に残存してゐるものを見ると粗製の奉書のやうな紙に墨、丹、黄土、緑青をもて大膽な囚はれない思い切つた筆で藤娘、瓢箪、鯉、奴の槍持、辨慶、鬼の念佛、矢の根五郎、座頭、鷹匠やらさまざまの奇抜な畫題を描いてゐる、紙の大きさもほゞ一定して曲尺で二尺に少し足らぬと其半分位なのとの二種に分れてゐるやうに思はれる、最も古いものと思はれるのは長い方の紙へ三尊佛を例の筆法で描きその全紙を一幅の掛物と見立て書き表装にしてこの紙一枚を購つて戻つて壁へ貼附すれば夫れでちやんと畫幅になつてゐるといふ簡便なもの、之を寛永頃に大谷邊の小店で



田舎畫師が描いて店に吊し下げて通りかゝりの旅人に鬻いだ、これやがて大津繪の濫觴であらうと思はれる、岩佐又兵衛が描いたとかイヤそれは違ふ別に大津又平といふ男があつたとか五月蠅い詮鑿は何うでも可い、唯、餘り世に知られぬ日南臭い百姓上りの畫師の手になつたとして見てゐる方が興味があるではないか、天和頃になつて墨畫の版木に肉筆で例の彩色を施すやうになつたといふ説もある、如何にも今日傳つてゐる中にある部分は版畫のやうなのがある、又美人とか浮世繪の影響を受けた畫題のはごうも眞の大津繪でないといふ人もあるが永い間に數知れず幾多累代の畫師に描かれた物だもの、うまいのもまづいのもある譯、賦彩といひ用紙と云ひ、描法と云ひ少しも異つた所がなく單に餘りに

巧すぎるかといふ一點を根據としてグズグズいふのは少し變だ、正可、誰も其畫を描いてゐたのを傍で見たものはあるまい、但しは大津畫に大津臭い一種の匂ひでもありますか知らんて、又小さい方の紙の大津繪には唄のやうな道話めいたやうな詞書の記されたのがある神戸の月村君はこれが今も絃にのせて唄ふ大津節の始りだらうというてゐられた、如何にも唄のやうなものもあるが全く散文のものもあるから一概にさうとは受け取れない、安永頃の「大津土産」と題した一書がある、之は狂歌師白縁齋とかいふ人が時の大津畫師の權次に多くの變つた大津繪を描かせてその上へ自分が狂歌を記したものの、この權次の筆法らしい畫が今年の一月、吾八で開かれた大津繪會に二三出品されてあつた、若夫れ大津繪の新舊



の鑑定に至つては何分無雜作に扱はれたものだから單に繪具の  
褪色だとか古びのみで論ずることは至難のわざで描法の雅俗の  
みに據ることも亦容易ではない、かくの如く偉ら相に孫引きばか  
りで云つてゐる自分などは固よりグウの音も上つたものではな  
い、大津繪考を書けといふ注文だつたが之は立派に違約してホン  
の思ひ付いたことだけをざつと記して狗尾をつぐこと如是々々

明治壬子春三月 中井浩水 誌

佛 美人  
角 力  
帆 掛 船  
藤 娘  
狐 馬  
外法の梯子剃  
化 狐  
爲 朝  
傘 美人  
鬼の三味線

某 氏藏  
水 落 露 石氏藏  
中 井 浩 水氏藏  
岡 本 月 村氏藏  
濱 和 助氏藏  
水 落 露 石氏藏  
同 氏藏  
岡 本 月 村氏藏  
吾 八藏  
鹿 田氏藏  
山 村 耕 花氏藏



鎗持奴  
象と天狗  
美人  
町奴  
若衆  
座頭  
藤娘  
藤娘  
灯提に釣鐘  
座頭  
鎗持奴

濱和助氏藏  
水落露石氏藏  
中井浩水氏藏  
山村耕花氏藏  
水落露石氏藏  
同氏藏  
濱和助氏藏  
水落露石氏藏  
同氏藏  
中井氏藏  
井上作兵衛氏藏

辨慶  
瓢箪鯨  
美人  
雷  
瓢箪鯨  
鬼の念佛  
電  
座頭  
猫と鼠  
大津みやげ

叶村屋叶丸氏藏  
水落露石氏藏  
同氏藏  
同氏藏  
野田九浦氏藏  
水落露石氏藏  
水落露石氏藏  
打越青亭氏藏  
岡本月村氏藏  
打越青亭氏藏



249  
71

明治四十五年四月廿五日印刷  
明治四十五年四月廿九日發行  
（金五拾錢）  
大阪西區新町通壹丁目五十七番屋敷  
著作兼 發行人 山內金三郎  
印刷人 武野健吉  
大阪西區靱上通二丁目  
印刷所 玉鳴館



249  
71



